



ふるさとキャリア教育モデル事業 日野町の取組

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

西部教育局
お役立ち情報
令和3年10月号

日野町では、**地域絵がかり**で子どもたちを育てるための**組織的・計画的な活動**が進められています。

活動例



校内マラソン大会



はるかのひまわりの苗植え



CHA³プログラム

取組の詳細については、こちらのQRコードからも御覧いただくことができます。



「コミュニティ・スクール & 地域学校協働活動【日野町】」Facebook

なぜ、このような学校と地域が一体となった活動ができるのだろう。



町中を走る小学生を、手をたたいて応援し、最後にメダルを首からかけてくれるのは、地域の方たちです。

日野高校の「はるかのひまわり絆プロジェクト」より贈られた苗を小学生と地域の方で植え、思いをつなぎます。

中学生、地域の大人、大学生が共に話し、多様な価値観と出合うことで、自分の目標のきっかけをつかんだり、何かに挑戦しようとする気持ちを持つことができました。
※令和2年度オンライン開催

日野町が**組織的・計画的な活動**を進めることができるポイントは2つあります。

ポイント①：地域学校協働活動推進員の活用

地域学校協働活動推進員が、学校からの取組計画を受け、ボランティアやゲストティーチャーへ**連絡**します。学校担当者、ボランティア、ゲストティーチャー等と共に、**活動の目的やねらい、展開や支援内容**等について協議することで**共有**し、**実践**へとつなげます。そして、活動後に、子どもの様子、指導や支援、展開等について**振り返り、見解を共有**していきます。

ポイント②：学校運営協議会での情報共有

学校運営協議会では、子どもたちに「**どんな力を付けさせたいのか、どんな子ども像をめざすのか**」について、地域・保護者・学校で共有し、**子どもたちのためにできること**について話し合います。

この2つのポイントは、日野町教育委員会作成の研修資料の中にも位置づけられています。

どこにあるのか見つけてみてください。私たちがヒントです。

[参照] 「ふるさと鳥取大好きプロジェクト」研修資料より（日野町教育委員会作成）

